

令和7年度 保護者からの放課後等デイサービス事業所評価表集計結果（公表）

公表：令和8年3月1日

事業所名：居宅介護支援センターやすらぎ

児童数：11名

回収数：8名

回収率：73%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	2		3		利用児童数も増加し隣接する建物を使用しながら今後も対応していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	2		3		配置基準に基づいた職員を配置しておりますが、日頃の活動や安全確保等に対応できるよう今後も努めます。
	3	事業所の設備等は、障害に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1		2		施設来訪時など設備の説明や掲示物の表示等の配慮を行っていきます。
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	2		1		整理整頓及び館内清掃は帰宅後に行っております。今後も感染症対策として活動場所や活動物品の消毒等を継続していきます。
適切な 支援の 提供	5	こどもを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援を受けられている と思いますか。	5	3				今後も情報共有を継続し、研修等を通して専門性を高められるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラム(※1) は、事業所の提供する支援内容と合ってい ると思いますか。	6	1		1		個々の特性に沿った支援を提供できるよう努めます。
	7	こどもを十分に理解し、こどもと保護者の ニーズや課題が客観的に分析された上で、 放課後等デイサービス計画(個別支援計 画)(※2)が作成されていると思いますか。	6	2				今後も情報共有を継続し、個々の成長に合わせた支援計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等 デイサービスガイドライン「放課後等デイ サービスの提供すべき支援」の「本人支 援」「家族支援」「移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的な支援内容 が設定されていると思いますか。	6	2				お子さんの特性やご家族の状況に応じた支援内容を設定できるよう今後も努めていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が 行われていると思いますか。	7	1				職員間で支援計画を共有し今後もより良い支援が提供できるよう努めます。
	10	事業所の活動プログラム(※3)が固定化され ないよう工夫されていると思いますか。	5	2		1		季節に応じた活動を取り入れ、今後も創意工夫しながら取り組んでいます。
保護者への 説明等	11	事業所を利用する際に、運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1				契約時のみならず、ご不明な点があった場合には、都度説明に努めます。
	12	「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1				内容等にご不明な点などございましたらご相談ください。
	13	事業所では、家族に対しても家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※4)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	1	2		今後も情報提供に努めていきます。
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1				些細なことでも共有できる環境整備を今後も進めていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見をふまえた対応
保護者への説明等	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2				保護者の方々との情報共有を継続し、今後も支援に努めます。
	16	事業所の職員から共感的に支援されていると思いますか。	6	1		1		都度職員間で情報共有を行い今後もより良い支援に繋がるよう努めます。
	17	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		1		日々の様子など連絡帳及び申し送りを継続し情報共有に努めます。また、必要に応じて関係機関との協力を得ながら適切に対応していきます。
	18	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1		1		今後もお子さんの特性に応じた支援を行い配慮に努めます。
	19	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6	1		1		当法人の機関紙の配布など発信情報が少なくご不便をお掛けしております。自己評価に関する結果等は当法人のホームページにも掲載されておりますのでご覧ください。
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			2		今後個人情報の適正な管理を含め周知徹底していきます。
非常時の対応	21	事業所では緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか。	6	1			・無回答1名	各種マニュアル及び業務継続計画を策定しております。また研修会を通して見直し等も行っていきます。
	22	事業所では非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	7			1	訓練が行われているか把握してませんでした。	避難訓練につきましては年2回長期休業時に実施しております。利用の有無によって参加できない場合もございますが、今後も有事の際を想定した訓練を実施していきます。
	23	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	2				安全計画を基に環境整備や安全の確保に努めます。
	24	事故等(怪我等を含む)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の実況等について説明がされていると思いますか。	6	1		1		緊急時の対応など職員間で共有し速やかに対応できるよう努めます。
満足度	25	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1				今後も安心して通っていただけるように環境整備を行っていきます。
	26	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1				楽しんで通っていただけるように職員間で意見を出し合い活動内容の工夫など努めます。
	27	事業所の支援に満足していますか。	6	2				引き続き保護者の方々との情報共有を図り、研修等を通して職員のスキルアップ向上に努めます。

※1「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※2「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されています。

※4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。

令和7年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価表の集計結果（公表）

公表：令和8年3月1日

事業所名：居宅介護支援センターやすらぎ

対象者：職員5名（回答数5名 回答率100%）

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係は適切であるか。	3		2	・怪我や事故に繋がらう配慮しながら利用児童が過ごしやすい対応でスペースを確保している。 ・他害行為のある利用者さんを別の部屋にスムーズに移動出来ればと思う。又は、適切かわからない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	1	・定員に対しては適切だと思うが、利用者の状態によって不足と感じる事がある。 ・個々のサポートするには人員が不足と感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか。	4		1	老朽化に伴い設備等を交換しています。今後も状況に応じて検討していきます。
	4	生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		1	古い建物なので、部分的に壁が剥がれている等が多く見られます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			・確実な個別対応出来る部屋があればいいが、工夫し個別に出来る部屋を作っている。
業務 改善	6	業務改善を進めるために委員会を設置し、協議内容の周知など広く職員が参画しているか。	5			・時間を作り話し合えるようにしている。 ・事業所への全体周知は会議記録にて周知している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			会議等を通じて意見交換を継続し、総合的に判断したうえで対応してきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			意見が少ないと感じます。現状に満足せず多角的な視点で業務を見直す必要性があります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			第三者による評価を職員間で共有し業務改善に繋がっています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修会の受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5			自主的に研修参加することができている。今後もスキルアップのため研修の機会を設けていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			ホームページや掲示物等で公表しています。
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			ご家族の聞き取りやお子さんの特性、興味関心ごと等、状況に応じて今後もアセスメントやモニタリングを実施していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			個別における課題など職員間で情報共有を行い、今後も検討していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			職員間での情報共有、共通理解を継続して支援を行っていきます。
	15	放課後等デイサービス計画には、5領域を含めた本人支援や家族支援、移行支援等の支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定されているか。	5			・今後もガイドラインに沿って個々の特性に応じた支援内容を設定していきます。 ・多面的にサポートする為に意識して支援を行っていきます。
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			個々の特性に応じた活動を職員間で情報共有（報連相）して取り組んでいます。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な 支援の 提供	17	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	4		1	季節に応じた行事など盛り込みながら今後も創意工夫していきます。
	18	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			前半と後半に分けて集団活動と個別活動を組み合わせ合わせています。今後も活動を工夫しながら行っていきます。
	19	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5			・午前を確認し、午後の始まる前にも確認している。 ・長期休みに関しては、職員が揃った時点で確認するようにしている。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5			勤務時間により全員が参加できていないが、業務日誌等を振り返りながら情報共有に努めます。
	21	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			今後も客観的に記録をとり支援内容の改善に努めていきます。
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	5			日々の情報を整理し会議を通してモニタリングを実施していきます。
	23	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			ガイドラインに沿った支援内容を今後も行っていきます。
	24	こどもが自己選択できるような支援が工夫がされているなど、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			特性に応じて活動一つ一つを選択できるよう、今後も行っていきます。
	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			基本的に児童発達支援管理責任者が参加していますが、状況に応じて児童指導員等も参加していきます。
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携 関 係 機 関 ・ 保 護 者 と の 連 携	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			今後も必要時に応じて、適宜医療機関と連携を図っていきます。
	27	学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の把握等）、連絡調整（送迎の対応、トラブル発生時連絡）を適切に行っているか。	5			下校時の申し送りの他に情報共有の会議など、今後も行っていきます。
	28	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、その子どもに係る人たちと連絡体制を整えているか。	5			看護師、医療機関との連携を図り安心して過ごせられるよう努めています。
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			法人内での事業所での情報提供が主ではありますが、今後も必要時に応じて他事業所との情報提供を図っていきます。
	30	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4		1	今後も研修等に参加し個々のスキルアップ向上に努めていきます。
	31	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		・基本的に児童発達支援管理責任者が参加し、情報を共有している。
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			その日の様子を帰宅時等の申し送りや連絡帳で情報共有を図っていきます。
	33	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			契約時に説明していますが、不明な点があった場合には都度説明していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			今後も情報共有を図り、お子さんやご家族の意向を確認していきます。
	35	放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			今後も個別支援計画の内容を丁寧に説明を行っていきます。
	36	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5			お子さんの興味関心ごとなどを中心に日常生活に係る様子を共有していきます。
	37	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知し、苦情があった場合は迅速にかつ適切に対応しているか。	5			個々の職員により対応に差異があるため、情報共有（報連相）を徹底しています。
	38	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	5			今後も個人情報の取り扱いには十分に注意していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			絵カードやマカトンなど、個々の特性に合わせた意思疎通を図っていきます。また、連絡帳も活用していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		1	法人のお祭りや避難訓練等で地域の方々との交流を図っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練や研修（勉強会等）を実施しているか。	5			各会議を通して勉強会を実施しマニュアルの見直し等を今後も継続していきます。
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			避難訓練は年2回実施し振り返りを行いながら必要事項の周知を図っていきます。
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			今後も服薬情報等を含め情報共有に努めていきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			食物アレルギーなど今後も注意し周知徹底を図っていきます。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じるなど、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			リスク管理を十分に把握し滞りなく日々の支援が行えるよう努めていきます。
	46	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図れるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、家族等へ周知しているか。	4		1	安全計画に関する周知は不足しており、今後は周知徹底を目指していきます。
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			申し送りや会議等にて情報共有を行い、再発防止に向けた安全管理を徹底していきます。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	5			今後も法人内外の研修に参加していきます。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			今後も身体拘束に関しては組織的に協議を重ねていきます。